

やっと秋らしくなってきましたね！ 栗も実がはじけ、稲刈りも始まりました。体にも十分気をつけて芸術の秋を楽しみましょう！

# Newsletter

2007-10 月号



北浜(大阪)の小学校へ、87歳(1920年ドイツ生れ)のピアノの修理に行きました。11月に行なわれるコンサートのための下準備です。

87年前は、と言うと大正9年、今話題のレトロビルがどんどん新築されていた景気のいい時代です。教育熱心な保護者たちが、わが子の音楽教育にと寄贈されたものだそうです。

将来の“家業や地域”を担う子ども達に最上級のスタインウェイピアノを贈るあたり、大阪商人のど根性を感じさせられたのでした。

## 不器用やからいい！？…らしい

皆には偉そう(?)にレッスンしている私ですが、実は私もまだ生徒。今も学生時代からの師匠にレッスンを受けに行っています。コンサートを控え、私のピアノから**不安だよ**～という音が出ていました。その時先生が『君は不器用やからいいんや』と私の心中を察して一言。『器用に出来たらもうピアノやめてるやろ。出来ないから続けるんや』と。なるほど確かにステージで成功した！と思ったことは！！…まだ1度もない。しよぼん。

それでも続けられていることに感謝しないとな～、と改めて実感しました。一緒にがんばろうね。

足立智真

## 音楽の科学 ～ 導音(シの音) ～

ピアノで半音ずつ上がったり下がったりしてみよう。どんな感じがするかな？  
全音の半分の音程は、とても不安定な性格を持っているんだ。



さて、音楽会で礼をするときの和音を覚えているかな？

ミソド→レシ→ミソド (気をつけ→礼→気をつけ)

最初はド、半音下のシはドに戻りたがって、最後もドで「ほっ」。

戻りたがる時の緊張感をうまく利用した名曲？だ。

この時のシの音を導音と呼んでいて、小さな曲にも必ず使われているので見つけてみよう！

岡本芳雄